

課題解決のための重点項目

- ① サービスの統一 ・ 全地域に児童クラブを設置（手続き方法、利用時間等）
 - ② サポート体制（トラブル対応、保護者・児童対応） ・ 責任者、専門職等の配置
 - ③ 欠員補充 ・ 欠員補充の仕組み ・ ヘルプ体制
 - ④ 児童厚生員の質の向上 ・ 指導 ・ 各種研修
 - ⑤ 待遇（福利厚生） ・ 市職員に準じた待遇（休暇・手当等） ・ 継続雇用
 - ⑥ 連絡手段の強化 ・ 連絡（出欠・通常・緊急）、入退管理（統計）
- ※その他 ・ 子どもの満足度、保護者の信頼度、職員の自由度等

比較するうえでのポイント

- ① 運営主体 ⇒ 地域ではない受け入れ先
- ② 受け入れ先 ⇒ 営利・非営利は問わない
- ③ 管理エリア ⇒ 個別ではなくまとめる
- ④ 児童館と児童クラブの管理 ⇒ まとめて管理

- ・ 持続可能な体制にするには、民間の優位性を取り入れた中で運営する方向が良いと思う。
- ・ 民間の持つデジタル化等の効率化スキルを、現場で受け入れられるようにすることが大切。
- ・ 営利のために、人件費等が削られないように仕組みを整えてほしい。



- ・ 責任者や専門職の配置は、課題解決につながる。
- ・ 研修の機会が増えることは、現場としてありがたい。

- ・ 欠員補充がスムーズになることもよい。
- ・ アプリ導入や給食サービスができれば、働いている保護者はとても楽になると思う。

- ・ 児童館と児童クラブの運営主体は、同一がよい。
- ・ 運営方法の変更について、関係者へ丁寧な説明が必要。